

- ◆ご使用の前にこの取扱説明書と住宅用分電盤に付属の説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- ◆交換時には電気工事士の資格が必要です。
- ◆この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

けがや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。



警告

- ◆感電や火災の原因となります。
不良工事は感電や火災の原因となります。
工事や修理は電気工事店にご依頼いただき、施工説明書を提示してください。



注意

- ◆けがのおそれがあります。
コントロール回路には、電気が自動的にON/OFFした場合、危険な状態になる電気機器は接続しないでください。けがのおそれがあります。
- ◆感電や故障の原因となります。
本体表面の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
濡れた布や、薬品を使用すると感電や故障の原因となります。

特長と機能

特長

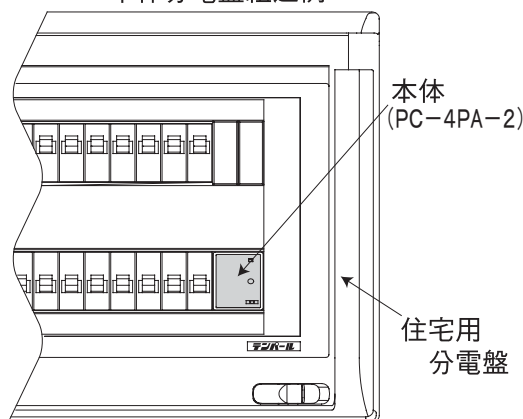
- ◆電気の使用状態を常に監視し、電気の使いすぎによる全停電を、未然に防止します。
- ◆本体に接続された使用電流値レベル表示付き住宅情報盤（インターホン）で電気の使用量をレベル表示するとともに、電気を使いすぎると音声でお知らせします。

機能

1. 電気の使いすぎを音声でお知らせ
 - ◆電気の使用量が電流制限器または主幹漏電遮断器の定格電流を超えると、音声でお知らせします。
音声メッセージのお知らせ間隔は、電気の使用量が多くなると短くなります。
2. ピークカット動作
 - ◆電気の使用量を検知して、その使用量が定格電流の110%（電流制限器なしの場合は100%）を超える状態が続くとコントロール回路に接続された電気機器を自動的にOFFし、全停電になることを防ぎます。
3. 復帰動作
 - ◆電気の使用量が復帰電流値以下の状態を約60秒間継続すると、ピークカット動作によりOFFした電気機器は自動的にONします。

*2～3項はコントロール回路に電気機器を接続している場合のみ動作します。

本体分電盤組込例



*本体の詳細につきましては、施工説明書をご参照ください。

使用上のご注意

- ◆ご使用になる前に、再度コントロール回路に接続されている電気機器をご確認ください。

コントロール回路に接続できる電気機器

- ◆日本電気工業会規格JEM1427「ルームエアコンH端子」に適合したJEMA標準H端子-Aまたは  の表示を有する電気機器のみ使用できます。

- ◆コントロール回路に接続する電気機器は施工業者様とご相談の上、選定してください。
- ◆電気使用量の大きい電気機器を選定してください。
- ◆自動的にON/OFFすると支障のある電気機器は接続しないでください。
- ◆契約電流値変更の際、契約電流値（電流制限器または主幹漏電遮断器の定格電流値）に合わせて本装置の設定を変更する必要があります。（施工説明書をご参照ください）
- ◆設定電流スイッチが設定電流以外の位置（「●」位置または設定値の中間位置で止まっている）に設定された場合、電源LEDがゆっくりと点滅し、20A設定の動作をします。

動作説明

負荷率 I (%) (*1)		動 作		コントロール回路の手動 ON (*3)
電流制限器あり	電流制限器なし	音声メッセージ (*2)	コントロール回路自動OFF	
$100 < I \leq 110$	$90 < I \leq 100$	3分ごと	なし	可
$110 < I \leq 120$	$100 < I \leq 120$	10秒ごと	45秒でOFF	不可
$120 < I \leq 140$	$120 < I \leq 140$	5秒ごと	15秒でOFF	
$140 < I$	$140 < I$	5秒ごと	2秒でOFF	

*1 負荷率とは、検出された電流値を設定電流値に対する比率で表すことをいいます。

*2 本体と接続された「インターホン」から音声メッセージを出力します。

*3 電気を使いすぎている場合、コントロール回路に接続された電気機器のスイッチはONできません。
(ONするとすぐにOFFします。)

停止動作

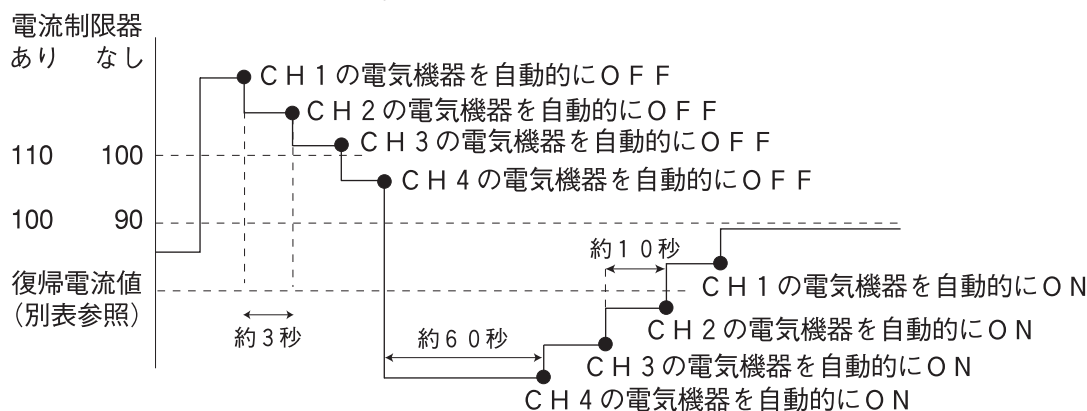
◆ピークカット動作は次の順序で行われます。

- ①定格電流の110% (電流制限器なしの場合は100%)を超えるとCH1の電気機器を自動的にOFFします。
- ②定格電流の100% (電流制限器なしの場合は90%)以下になるまで順次、CH2→CH3→CH4の順に電気機器を自動的にOFFします。

復帰動作

◆復帰動作は次の順序で行われます。

- ①定格電流に対して設定された復帰電流値以下の値が約60秒間継続したときCH4の電気機器を自動的にONします。
- ②CH4が復帰した後、使用電流が定格電流の100% (電流制限器がなしの場合90%) 以下の場合、約10秒後にCH3→CH2→CH1の順に電気機器を自動的にONします。



定格電流に対する復帰電流値

定格電流値	復帰電流値 電流制限器	
	あり	なし
20A	10A	8A
30A	21A	18A
40A	32A	28A
50A	42A	38A
60A	52A	48A
75A	63A	63A
100A	88A	88A

故障かな？と思ったとき

修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

現 象	原因・点検事項	処 置
コントロール回路に接続されている電気機器が使用できない。	◆コントロール回路の制御中か、電気を使いすぎている可能性があります。 ◆本装置の故障か誤配線の可能性があります。 ◆電気機器の故障か、コンセントが抜けている可能性があります。	・使用中の電気機器のスイッチをOFFしてください。動作の詳細については、動作説明をご参照ください。 ・施工された施工業者様にお問い合わせください。 ・電気機器メーカー様にお問い合わせください。 ・電気機器をコンセントに接続してください。
繰り返し、ピークカット動作する。	◆定格電流に近い電気が使用された状態が続いています。 ◆設定電流値が20A設定（電源LEDがゆっくりと点滅）になっている可能性があります。	・使用中の電気機器のスイッチをOFFしてください。 ・本体の電源LEDを確認してください。ゆっくり点滅している場合は、20A設定になっていますので、施工された施工業者様にお問い合わせください。
電流制限器または、主幹漏電遮断器が切れ、全停電になる。	◆本装置が全てのコントロール回路に接続された電気機器の運転を停止しても、契約電流以上の電気を使用しています。 ◆契約電流と本装置の設定電流値が合っていないおそれがあります。 ◆電流制限器が設置されているにもかかわらず、電流制限器あり・なしスイッチが「なし」になっている可能性があります。	・使用している電気機器のスイッチをOFFした後、再度電流制限器または、主幹漏電遮断器のスイッチをONしてください。 ・施工された施工業者様にお問い合わせください。
本体に接続されているインターホンが正常に動作しない。	◆誤配線の可能性があります。 ◆インターホンの故障の可能性があります。	・施工された施工業者様にお問い合わせください。 ・インターホンのメーカー様にお問い合わせください。

商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

技術問い合わせ窓口

TEL (082) 287-9110 FAX (082) 283-4534

受付時間 9:00～17:30

[月曜日～金曜日(祝・祭日、弊社休業日を除く)]

広島市南区大州3-1-42

テンパール工業株式会社

<http://www.tempearl.co.jp/>